地球連邦軍
ニュータイプ専用モビルスーツ
RX-93「ニューガンダム」
1/100 スケール
マスターグレードモデル

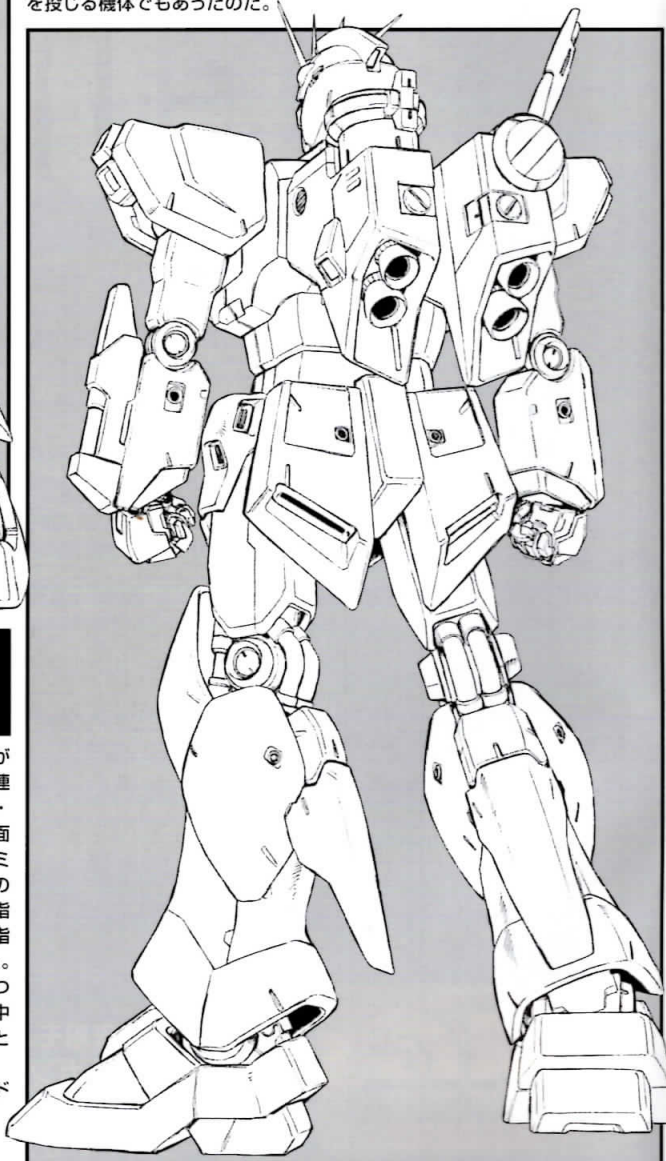
BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

RX-93 νGUNDAM

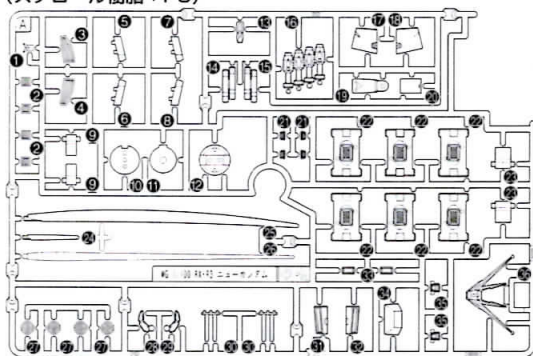
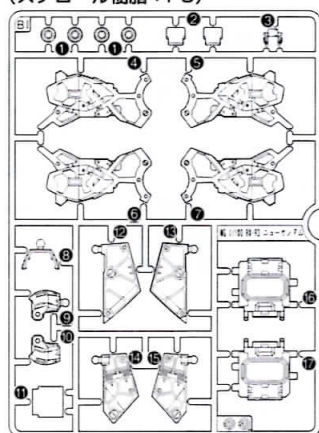
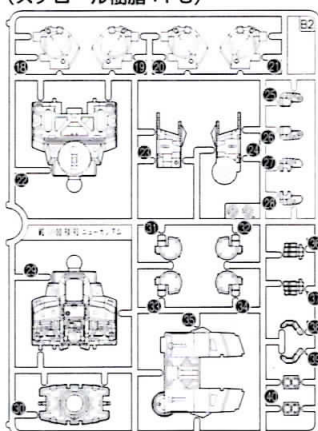
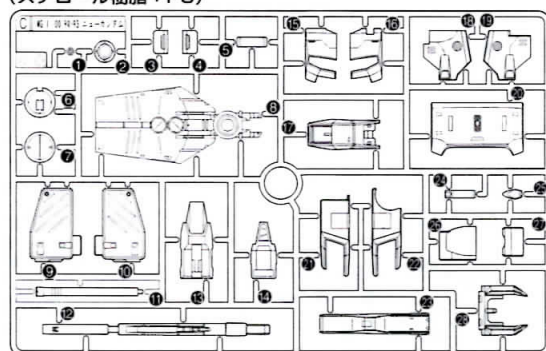
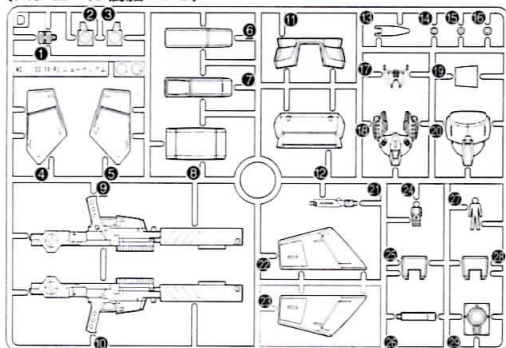
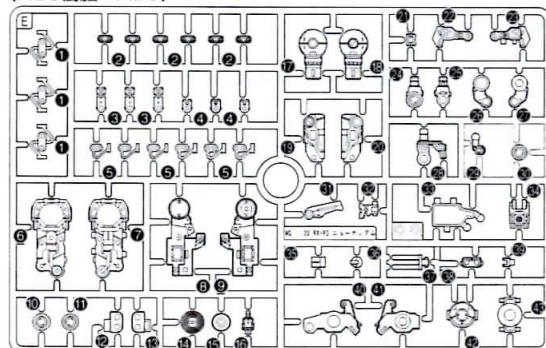
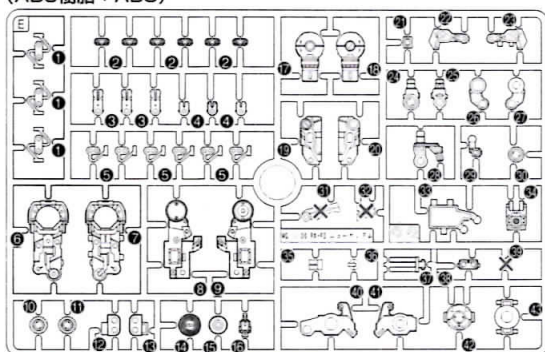
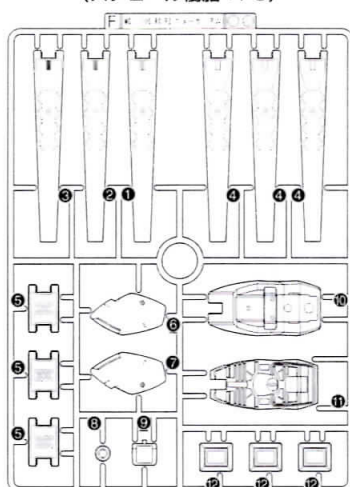
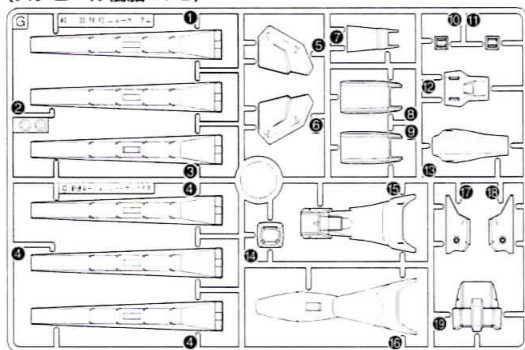
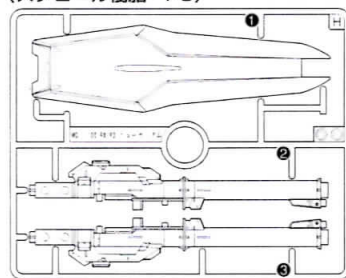
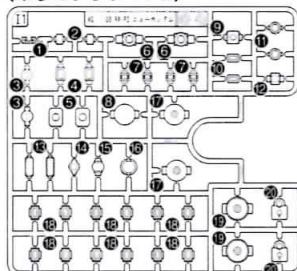
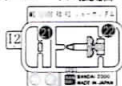
U.C.0092年。グリプス戦争以来行方をくらましていたシャア・アズナブルが再び歴史の表舞台に姿をあらわした。彼が統率する新生ネオ・ジオンは、地球連邦軍に対し攻撃を示唆。続いて難民収容コロニーとして改装されたスウィート・ウォーターを艦隊で占拠した。この一連の"有事"は唐突に見えるものの、水面下では数カ月前から囁かれていた、いわば予見された"状況"であった。ジャミトフのティターンズとハマーンのネオ・ジオンが倒れた後、エゥーゴは連邦軍の実権を掌握するものの、指導者であるブレックスは既に亡く、彼が後継者に指名したクワトロことシャアも、グリプス2を巡る攻防で消息不明となり、その指標を失っていたのである。かくして、エゥーゴの志は組織の中に埋没していった。つまり、地球圏は旧態依然としたままであったのである。そんな状況の中、かつての旧公国軍残党や反地球連邦勢力の水面下での再編が進行しており、その中核を担っていたのが、ジオンの忘れ形見であるキャスバル・レム・ダイクンことシャア・アズナブルだったのである。

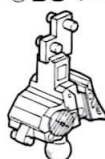
U.C.0089年。第一次ネオ・ジオン戦争終結後、連邦政府はスペースノイド寄りのコロニーなどに対し経済制裁等の引き締め策強化を実施した。その結果、反地球連邦組織の活動が活発化したため、翌0090年3月21日、連邦軍は外郭新興部隊ロンド・ベル隊を設立し、各地で頻発するテロや破壊活動の鎮圧、捜索および摘発に当たらせていた。そして、"シャアの復活"が現実のものとなった時点で、ロンド・ベルは「シャアの反乱」に対処するための実戦部隊として再編されることとなったのである。

RX-93ν(ニュー)ガンダムは、再編後のロンド・ベル隊のフラッグシップといえるMSであり、一年戦争でRX-78ガンダムを駆り勇名を馳せたアムロ・レイが自ら設計した機体である。基礎設計は歴代の"ガンダムタイプ"を参考とし、その平均値に技術進展によるアップデートが施されている。また、画期的な新素材である"サイコ・フレーム"と攻防一体のビット兵器"フィン・ファンネル"を装備するガンダムタイプ初のフルスペックNT(ニュータイプ)専用機でもある。 この機体は、AE(アナハイム・エレクトロニクス)のフォン・ブラウン工場で建造され、実質3ヶ月という短期間で当時最強の機体として完成した。これは、ムーバブル・フレームの工業製品およびテクノロジーとしての成熟と、AEや連邦軍のエンジニアの不眠不休の努力の賜物であり、また、アムロ自身によるMSへの深い造詣によるものであると言える。νガンダムは、NT能力を持つエンジニアが自ら開発した初めての機体でもあるのである。さらに、νガンダムがロールアウトするまでの期間、アムロはZ系の量産を指標とするバリエーション機のリ・ガズィに搭乗していたが、その経験も設計に援用されている。Z系の機体の基礎設計は、コピーが容易で堅牢な構造を持つが、その反面、操作は非常にデリケートで、先鋭的な挙動を示す傾向にあるという。その意味でνガンダムはとてもベーシックな機体であり、連邦系MSの原点に立ち帰ったMSであるとも言える。

グリプス戦争以降のMSは、異業種の参入や新技術の爆発的な進化に伴って、異なるコンセプトの融合が過剰に計られる傾向があり、スペックは向上したものの、バランスを欠いた機体が多く輩出していた。νガンダムは、その傾向に一石を投じる機体でもあったのだ。

Conceptual illustration : Hajime-Katoki

パーツリスト

Aパーツ
(スチロール樹脂：PS)

B1パーツ
(スチロール樹脂：PS)

B2パーツ
(スチロール樹脂：PS)

Cパーツ
(スチロール樹脂：PS)

Dパーツ
(スチロール樹脂：PS)

Eパーツ
(ABS樹脂：ABS)

Eパーツ
(ABS樹脂：ABS)

Fパーツ (×2)
(スチロール樹脂：PS)

Gパーツ (×2)
(スチロール樹脂：PS)

Hパーツ
(スチロール樹脂：PS)

I1パーツ
(ポリエチレン：PE)

I2パーツ
(スチロール樹脂：PS)

①DC

②DC (×2)

カラーシール………1枚
マーキングシール…1枚
ガンダムデカール…1枚
ビス…………12個+1個
メッシュパイプ……1本

《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書**(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)**にて下記までお申し込みください。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先　(株)バンダイ静岡相談センター
〒424-8735 静岡県清水市西久保305　TEL0543-65-5315

《料金表》●部品代は1個の料金です。

部品番号	DC	その他の部品
部品代	各100円	各40円
郵送料	120円	120円

2000.12/T・ON

For Japanese use only.

部品注文カード　78212-5000
1/100SCALE MGシリーズ
RX-93 ニューガンダム

必要な部品の記号･番号･数量をかく

●注文された理由(○で囲む) (こわした･なくした)

部品の注文は「定額小為替」でお願いいたします。
'00.12

RX-93 νGUNDAM

①メインカメラ
②通信用ブレードアンテナ
③マルチセンサー
④サブセンサー
⑤90mmバルカン
⑥フロントアーマー
⑦サイドアーマー
⑧ニージョイント
⑨デュアルセンサー
⑩コクピットハッチ
⑪ラジエーションユニット
⑫パワーサプライヤー
⑬ショルダーアーマー
⑭ダクト/インテーク
⑮ファンネルポート
⑯ターレット
⑰マウントラッチ
⑱メインスラスター
⑲ビーム・サーベル
⑳サーベルラック
㉑マニピュレーター
㉒サブスラスター
㉓ニーアーマー
㉔ベンチレートボックス
㉕サーベルマウント
㉖マイクロスラスター
㉗アクティブスラスターフィン
㉘リアアーマー
㉙イジェクションポート
㉚ダクト
㉛ジョイント
㉜ビーム・キャノン
㉝マイクロミサイル
㉞フォールディングストック
㉟グリップ
㊱ショルダーレスト
㊲トリガー
㊳マガジン
㊴ナロウセンサー
㊵マズル

注）この機体は月面のアナハイム・エレクトロニクス、フォン・ブラウン工場でU. C.0093年3月初旬にロールアウトし、同月12日にラー・カイラムにおいてフィン・ファンネルの実装と最終調整を行った直後の状態のものです。

⚠ 注 意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。
- 接着剤を使用する時は、接着剤の注意をよく読んでご使用ください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

※このキットの組み立てには＋(プラス)ドライバーを使いますので別にご用意ください。

・接着をするところの線

・シールの番号

・デカールの番号

・反対側に取り付けるパーツ

・両側に同じパーツを取り付ける

・向きに注意して取り付ける

・ビスの締めすぎに注意

・切り取るところ

・部品を数値の個数作ります

・先に組み立てます

・後に組み立てます

・数値に合わせて回転させます

・どちらかを選んで取り付ける

・反対側も同じように動かします

1 ×2

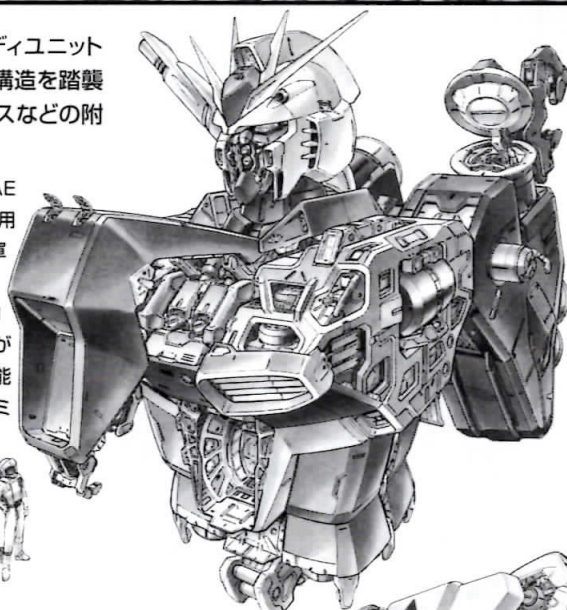
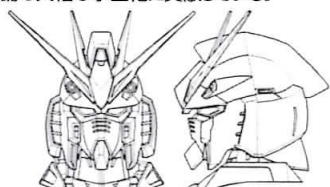
2 ×2

3 ×2

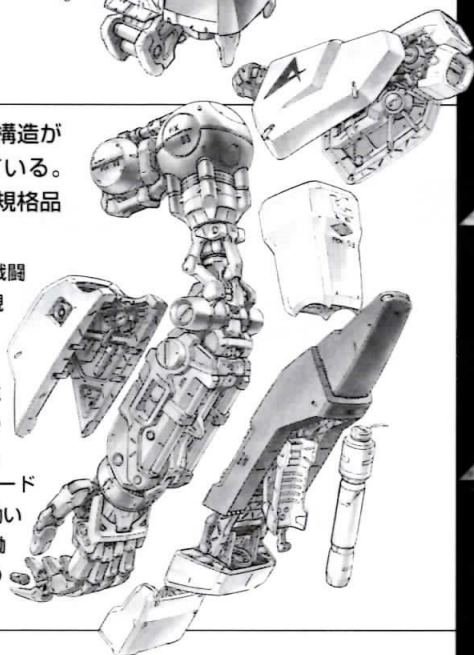
4

BODY UNIT

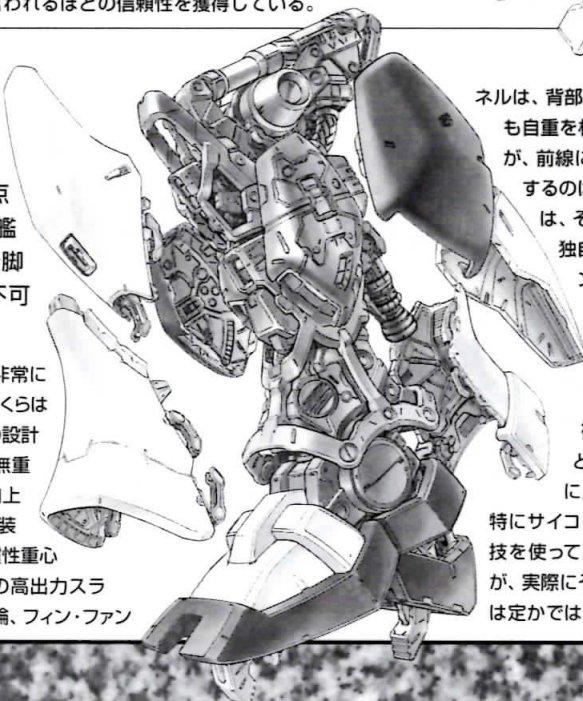
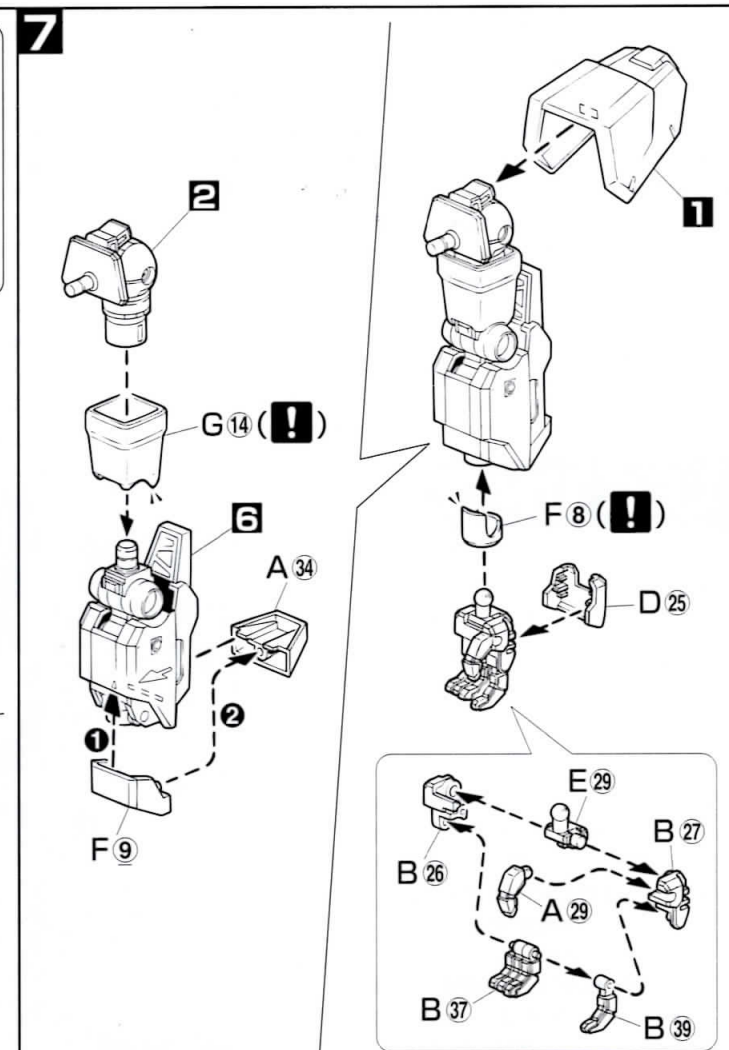
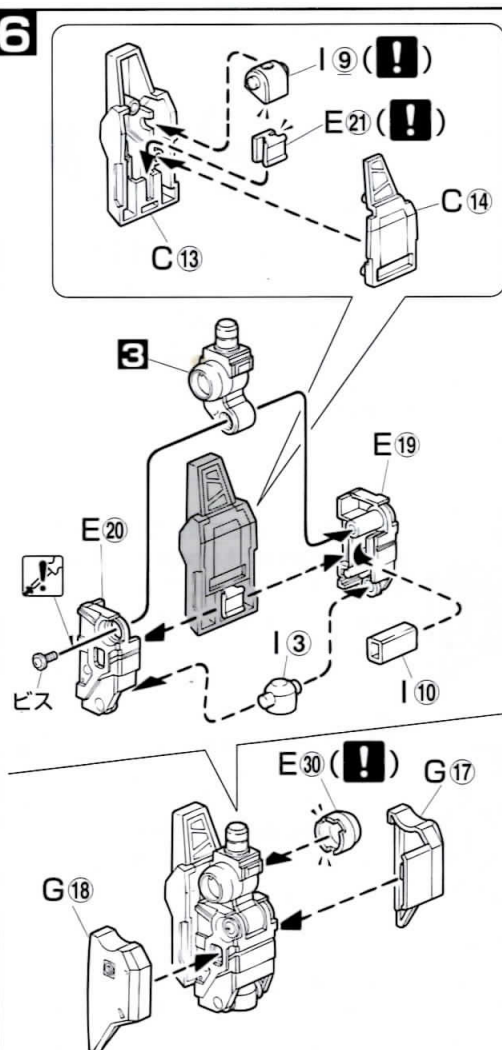
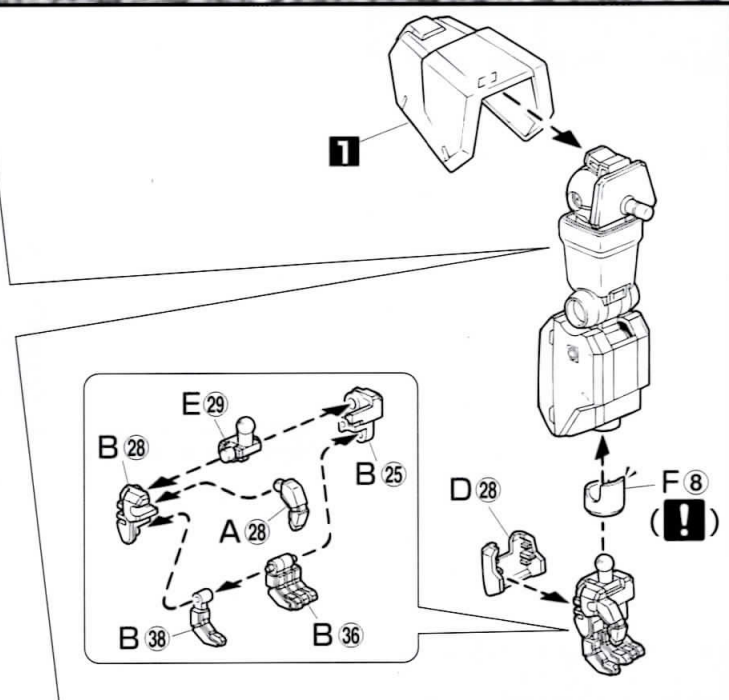
RX-93νガンダムのボディユニットは、RX-78ガンダムの基本構造を踏襲し、大型化した機体とのバランスを考えた上で、サイコミュデバイスなどの附帯機能を盛り込み、併せて装甲材の強化などを行っている。

RX-93のボディには、Z系の機体の部材も採用されていて、センサー類などはAEが独自に開発したバイオ・センサーやインコムデバイスのスピンオフ技術なども援用されている。基本的にはワンオフを前提とした機体ではあったが、AEおよび連邦軍の兵站局などにも配慮し、後の量産化も可能な設計が施されている。そうすることで漸く、RX-93という制式番号と開発費を捻出することができたのである。サイコミュ装備以外の物はほとんど軍の規格品か、それに準じた調達容易な資材や試料が多く使用されている。特に、新規に採用されたサイコ・フレームは、サイコミュの機能を持つコンピュータチップを金属粒子のレベルで鋳込んだMS用の部材で、サイコミュ装備の大幅な小型化に貢献している。

ARM UNIT

RX-93の腕部は、他の量産型MSと基本構造が同一のムーバブル・フレームが使用されている。ただし、デザインそのものや消耗品以外の部材、ケーブルなどは、標準的な規格品を超える選りすぐりが供給されている。

νガンダムの設計に際しアムロが心掛けたのは、まず信頼性と耐久性が高いことと、戦闘が長期化した場合に備え、メインテナンスやアップデートが容易なように、可能な限り規格品を使用し、各部をユニット化することであった。そのためには、グリプス戦争以来の実績を持つムーバブル・フレーム構造は都合が良かったが、アムロはさらに、各デバイスそのものの交換なども容易な改装を施していた。簡単に言えば、必要なスペックを達成するために機体が大型化してしまうことを逆手にとり、内部構造に余裕を持たせていたのである。そのため、内装火器は極力省略し、同時に機体の軽量化を計っていたのである。この構造は、ロールアウト直後の戦闘そのものをトライアルとして得られたデータのフィードバックを可能とし、また、サイコミュデバイスのサイコ・フレームとの置換にも有利に働いたのである。それらの要素を除けば、νガンダムの腕部は非常にベーシックなもので稼働も安定しており、万一、敵MSとのマニピュレーターによる打突戦を経過した後でも、その機能には全く支障がないだろうと言われるほどの信頼性を獲得している。

LEG UNIT

空間戦闘用MSの脚部は、基本的に巨大なベクタードノズルとして機能するが、拠点攻略や防衛、上陸任務や母艦へのランディングなど、歩行脚としての脚部は依然として不可欠な装備なのである。

腕部と同様、νガンダムの脚部は非常にベーシックな設計が施されており、ふくらはぎ部分の追加バーニアも、RX-78の設計案に盛り込まれていた機構であり、無重量空間のみならず機体の機動性を向上させる。特に、フィン・ファンネルを装備した場合、戦況によっては機体の慣性重心が頻繁に移動してしまうため、複数の高出力スラスターの装備は不可欠であった。無論、フィン・ファンネルは、背部のターレットに装備されている状態でも自重を相殺するに充分な機動性を持っているが、前線に到達する以前にプロペラントを消費するのは賢明ではない。そのためνガンダムは、その重心移動に対応したプログラムを独自に開発しているのである。無論、フィン・ファンネルは機体に対してのAMBAC装備としてはほとんど機能しないため、νガンダムは四肢の挙動でそれを補うしかない。その際脚部は各部に発生するモーメントを制御するためにも非常に重要なユニットとなるのである。そのレスポンスは正に人間並みの反応速度であると言われ、特にサイコ・フレーム実装後は、近接戦闘時に足技を使って敵の蹴撃も可能だと言われるほどだが、実際にそのような戦闘が展開されたかどうかは定かではない。

Mechanism illustration : BEE-CRAFT

FIN FUNNEL

νガンダムに装備される主兵装“フィン・ファンネル”は、ガンダムタイプ初のビット兵器であり、MSが単体として携行できる武装としても屈指の威力を持つ攻防一体の最強の武装である。

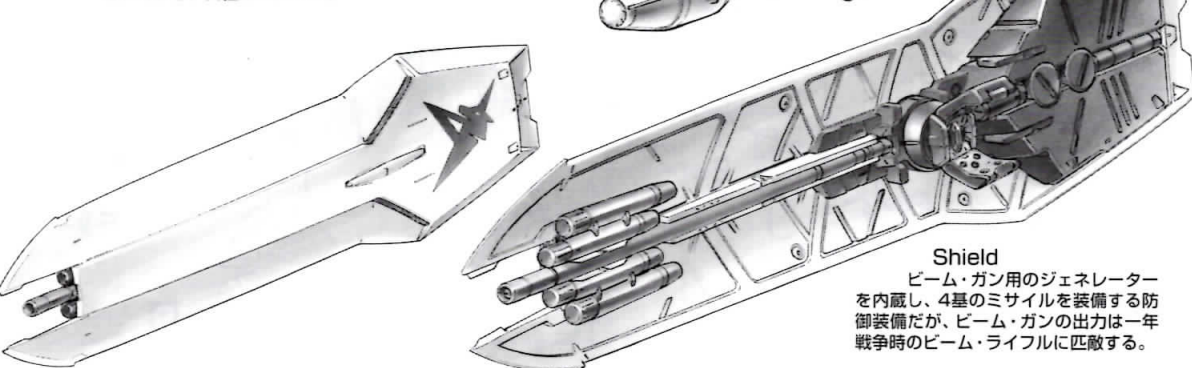
RX-93νガンダムの装備するフィン・ファンネルは、開放型のメガ粒子加速帯と小型のジェネレーターを内蔵し、それ自体が三つのブロックからなるAMBACユニットそのものである。ビット兵器としては大型で、機体に匹敵する全長をもつが、その機動性や稼働効率、実働時間は、スラスト機動のみに頼る通常型のビットやファンネルをはるかに上回る。さらにこの兵器の特徴は、ビームバリアの展開が任意に可能なことだろう。メガ粒子の縮退に必要なシステムはIフィールドジェネレーターと同じ基本原理に基づいているため、開放型にしたことで転用が可能となったのである。さらにファンネルの配置によってバリアの有効面を任意に変更することも可能であり、最低4基のファンネルを配置すれば、機体を正四面体で防御することも可能なのである。これは、端的に言ってビーム兵器に対しては死角が存在しないことを意味する。万一、敵のビット兵器がこのフィールド内に干渉した場合、サイコウェーブが還流し、その端末とリンクしているパイロットは生理的なダメージを被ることになるという。

WEAPONS

RX-93に施された武装は、そのほとんどが専用の物ではあるが、部材や弾頭などはほとんどが規格品である。逆に言えばνガンダム自体が急造のMSであったことを考えれば、破格の充実ぶりであると言うこともできる。

Customable Beam Saber
増幅装置やエミッターに独自の設計が施され、ビームの形状や形成にバイアスやアレンジをかけることができる特別仕様のビーム・サーベル。

Beam Rifle
ビームを圧縮して間欠的に射出することができ、マシンガン的な使用も可能。最大出力では同時期の戦艦クラスの主砲に匹敵する威力を持つ。

New Hyper Bazooka
連邦軍の代表的なMS用兵器。同等品をνガンダムに合わせて仕様変更したもの。無論、射程や弾頭の破壊力は改善されている。口径は280mm。

Shield
ビーム・ガン用のジェネレーターを内蔵し、4基のミサイルを装備する防御装備だが、ビーム・ガンの出力は一年戦争時のビーム・ライフルに匹敵する。

13

12

E⑪
E㉟
E㊱
(!)
I ⑱
E⑩
I ⑱
G⑲
8

A⑦
B⑤
I ⑱
A㉝
A⑧
B④

14

13

G⑨
G⑧
G⑮
G⑯
F⑥
10
F⑦

15

②DC
I ⑰
❶
❷
E㊸
B㉑
B⑳

MOBILE SUIT DECK

U.C.0093年2月27日。ネオ・ジオン総帥シャア・アズナブルは、インタビュー番組内で事実上の宣戦布告を行い、同年3月4日、電撃的な作戦で5th（フィフス）ルナを連邦軍本部所在地であるチベットのラサに激突させ、甚大な被害を地球にもたらした。カラバでの活動を経て"現場"に復帰していたアムロ・レイは、良くも悪くもシャアの最大の理解者であり、連邦政府とのシャアの交渉そのものが偽装であることを見抜いていた。同月6日、フォン・ブラウン工場から直接出撃したνガンダムは、戦闘終了後、ロンド・ベル隊の旗艦ラー・カイラムに収容され、遅れてロールアウトした最強兵器"フィン・ファンネル"との最終調整を開始した。

KIDDING

宇宙世紀0093年3月12日。連邦政府はシャアの計略にはまり、アクシズを強奪されてしまった。シャアは地上に住むすべての人を虐殺する「地球寒冷化作戦」の最後のステップを踏み出したのだ。アクシズへ急ぐロンド・ベル隊の前に、ギュネイ・ガスのヤクト・ドーガが、そして、クェス・エア（クェス・パラヤ）が駆るα・アジールが立ちはだかる。「子供につきあっていられるか！」シャアとの決着にのぞむアムロにとって、ギュネイの嫉妬やクェスの思い込みは、ひどく煩わしいものだった。「なんでさッ！」なおもクェスは追いすがる……。

A SWORD BATTLE

ロンド・ベル隊の抗戦も虚しく、アクシズは地球落着のコースに乗ってしまった。あと数時間もすれば、有史以来最大の質量弾が地球環境を破壊し、人類は居住不能となるだろう。アムロはνガンダムを駆り、サザビーのシャアと最後の戦いに臨む。地球への落着軌道を逸らすため、アクシズの分断を図るブライトは、工作隊を率いてアクシズに上陸する。その頃、νガンダムとサザビーは、アクシズの表面で激しく切り結んでいた。「俺は貴様のように絶望してもいなければ急ぎすぎもしない!!」その戦いは、すでに人類の平和や正義のための戦いではなく、ひとつの運命を巡る男と男の戦いとなっていた。そして……。

MARKING

▲機体各部をリアルに再現するナンバー表記、注意書き等のマーキングシールをセット。エンブレム等のマーキングを要望の高いガンダムデカールで再現しました。

BACK PACK

WEAPONS

PAINTING

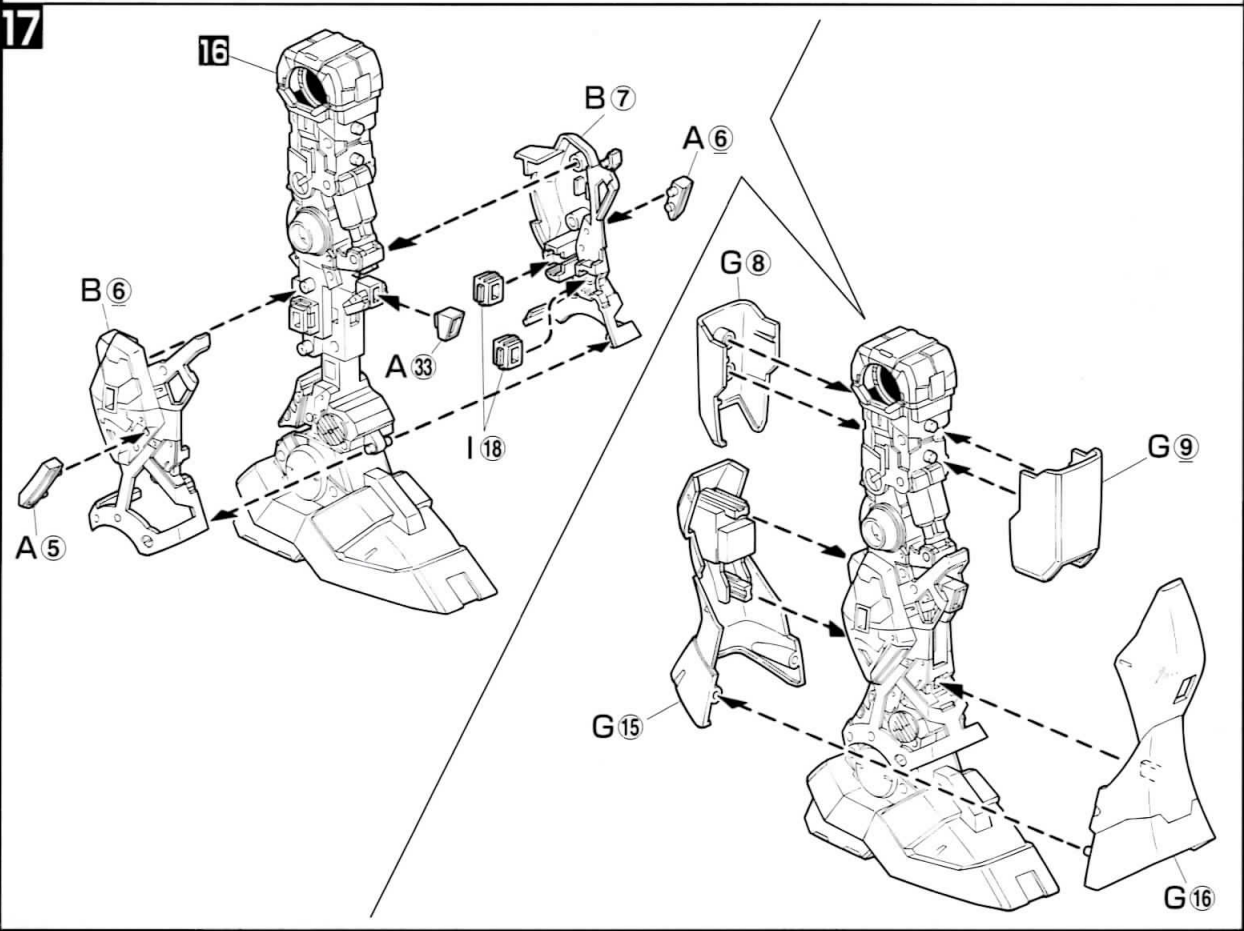
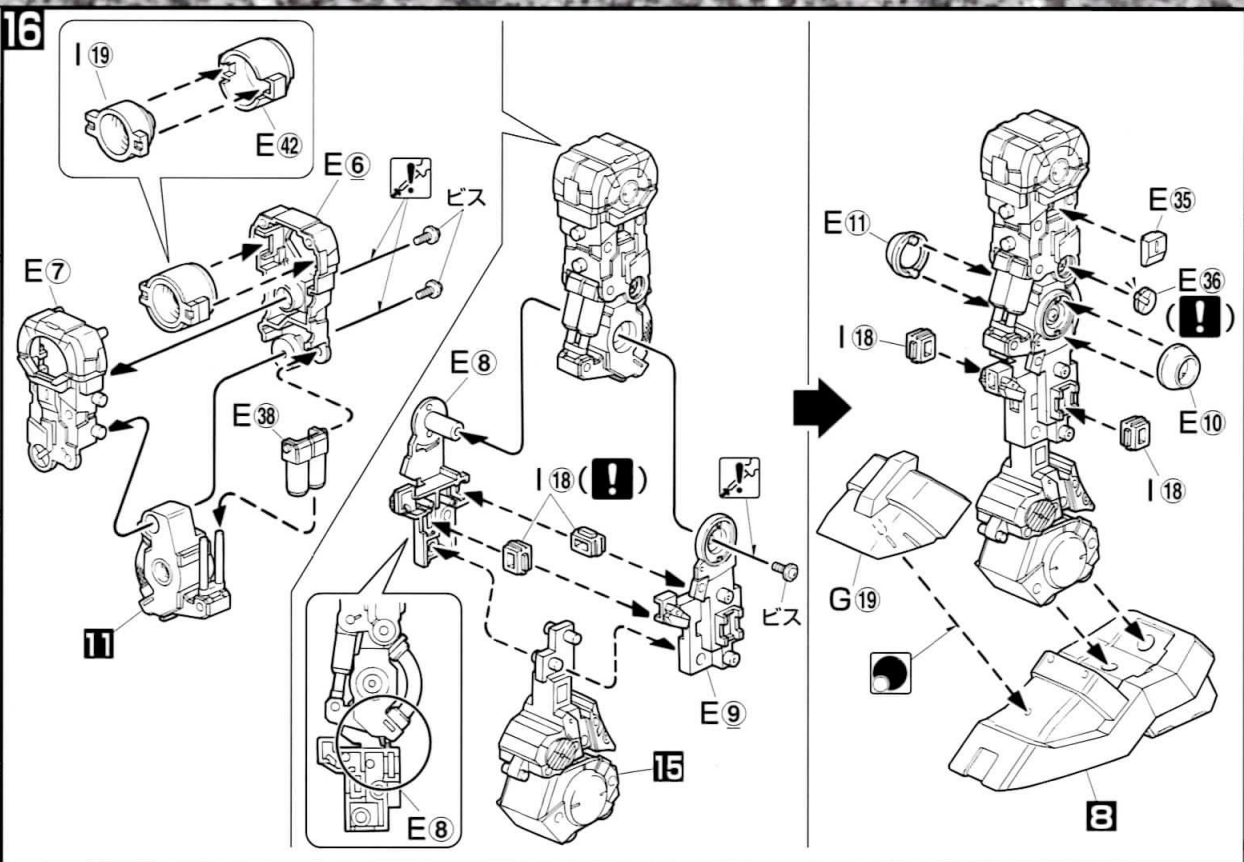
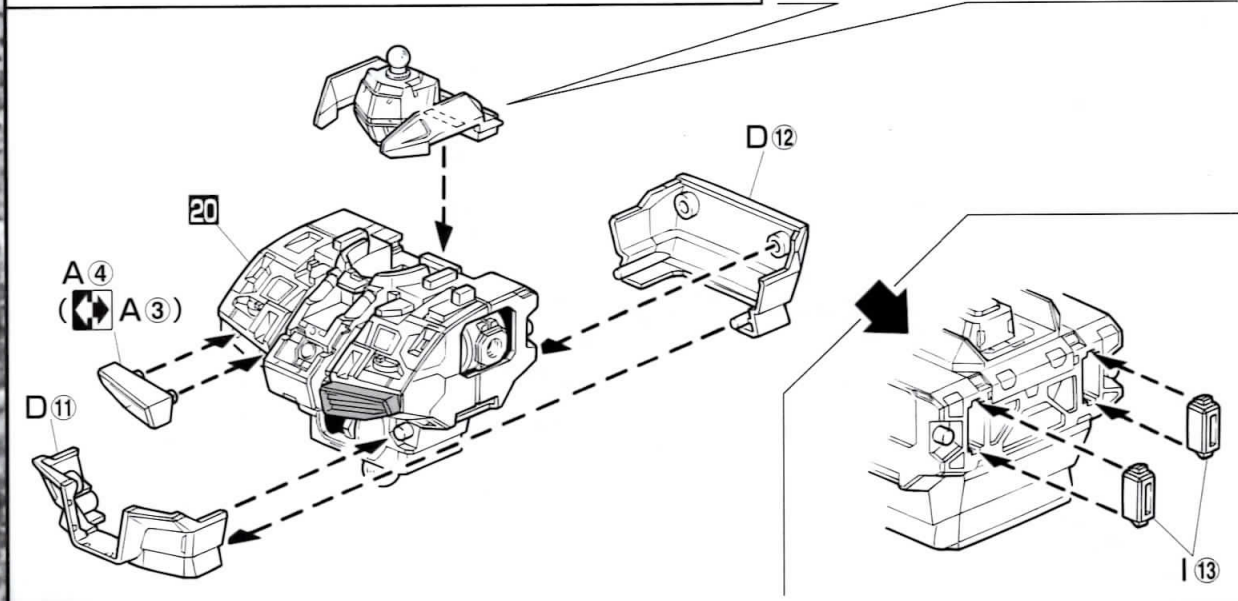
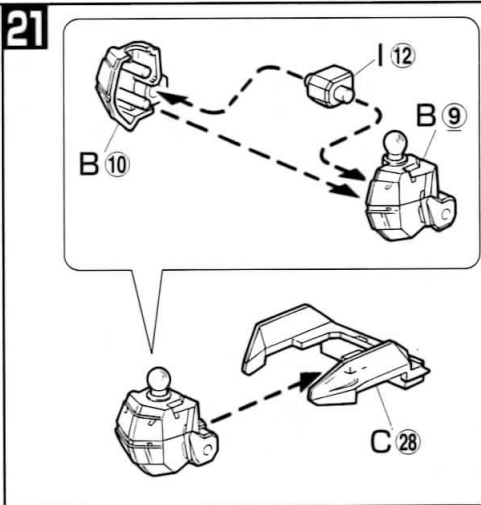
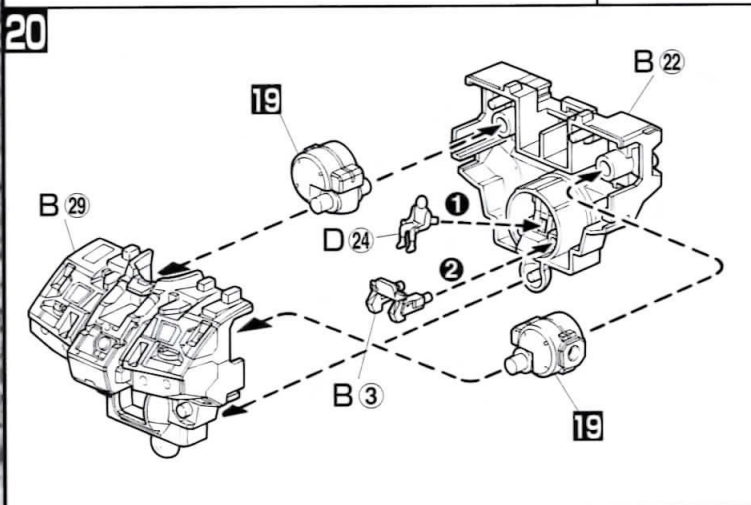
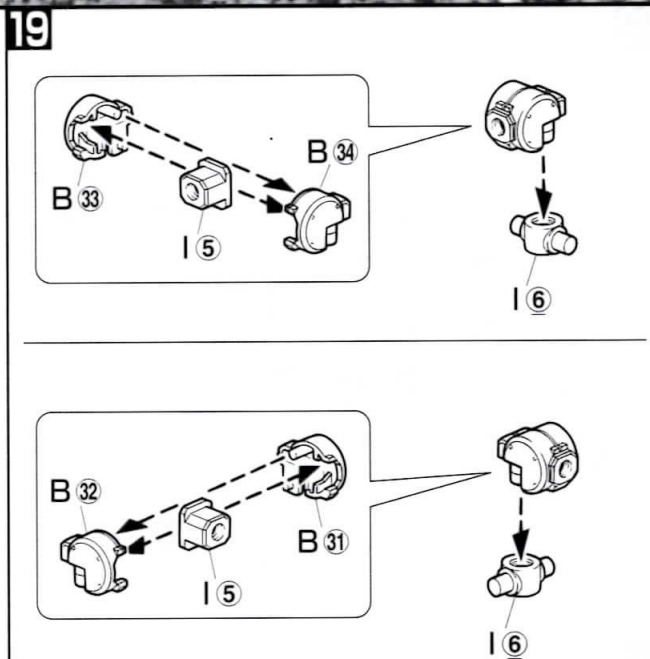
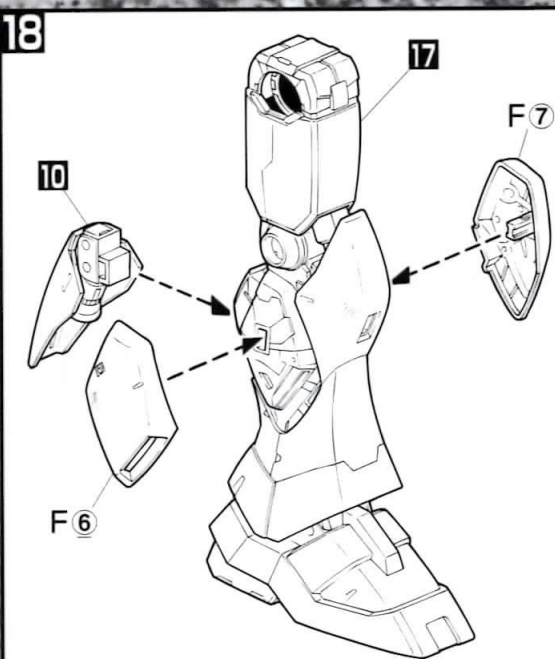
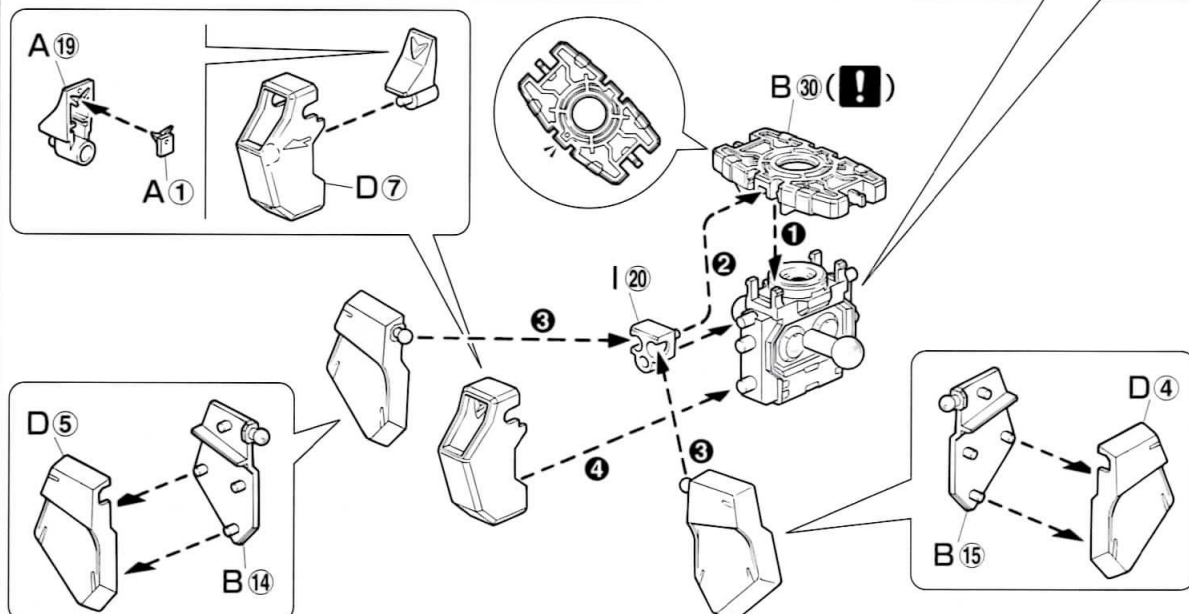
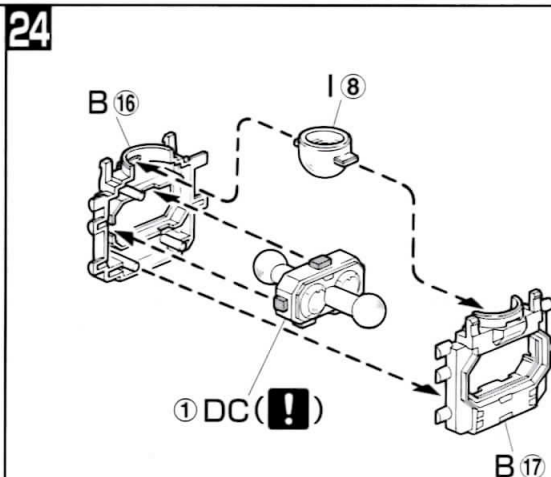
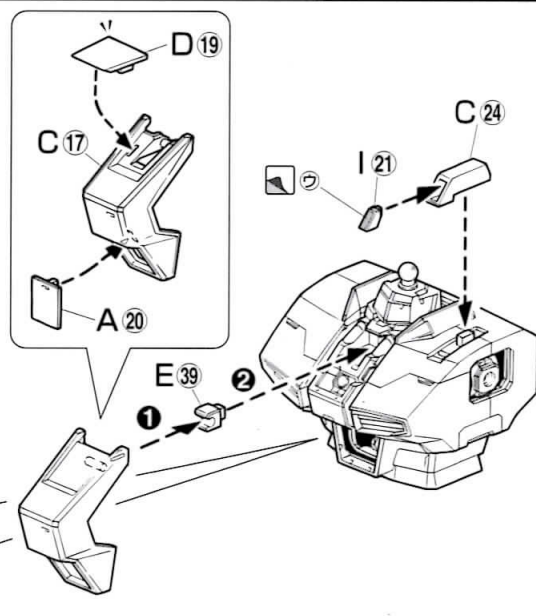
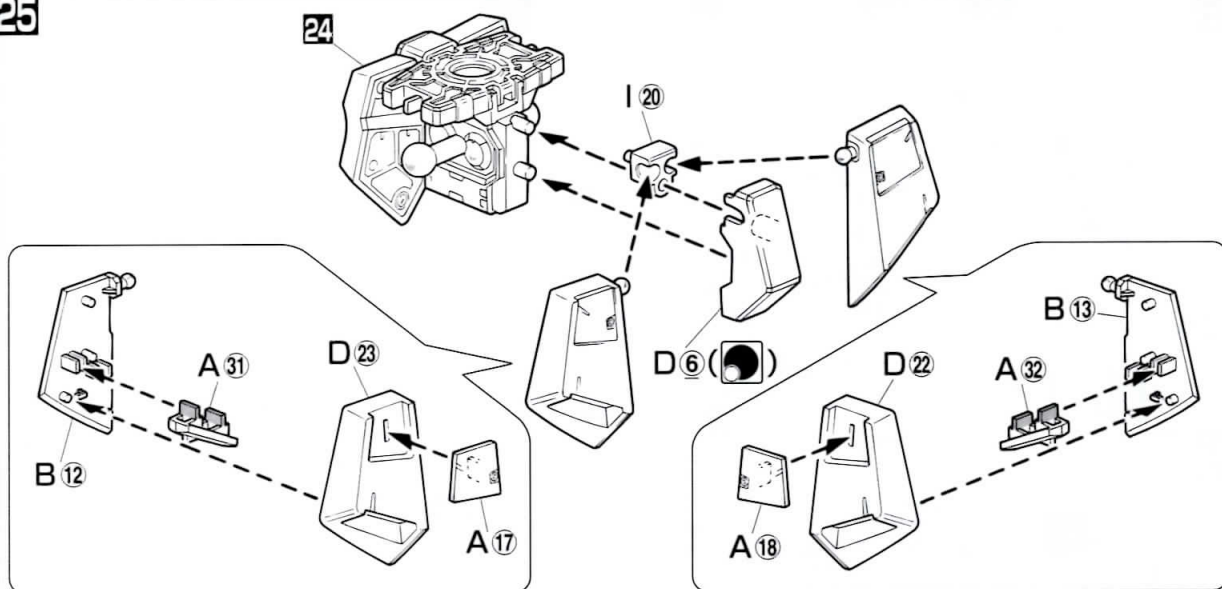
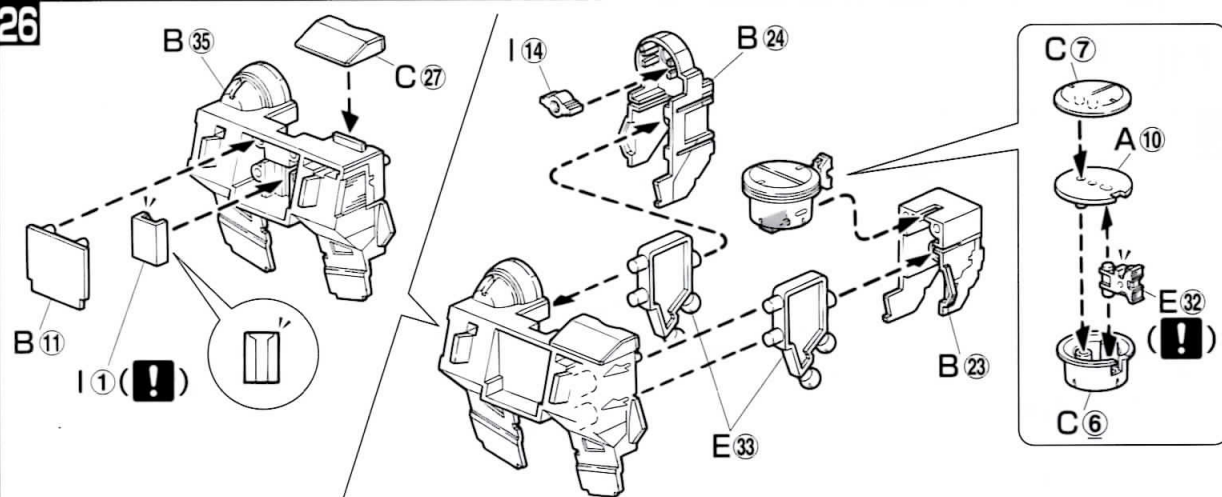
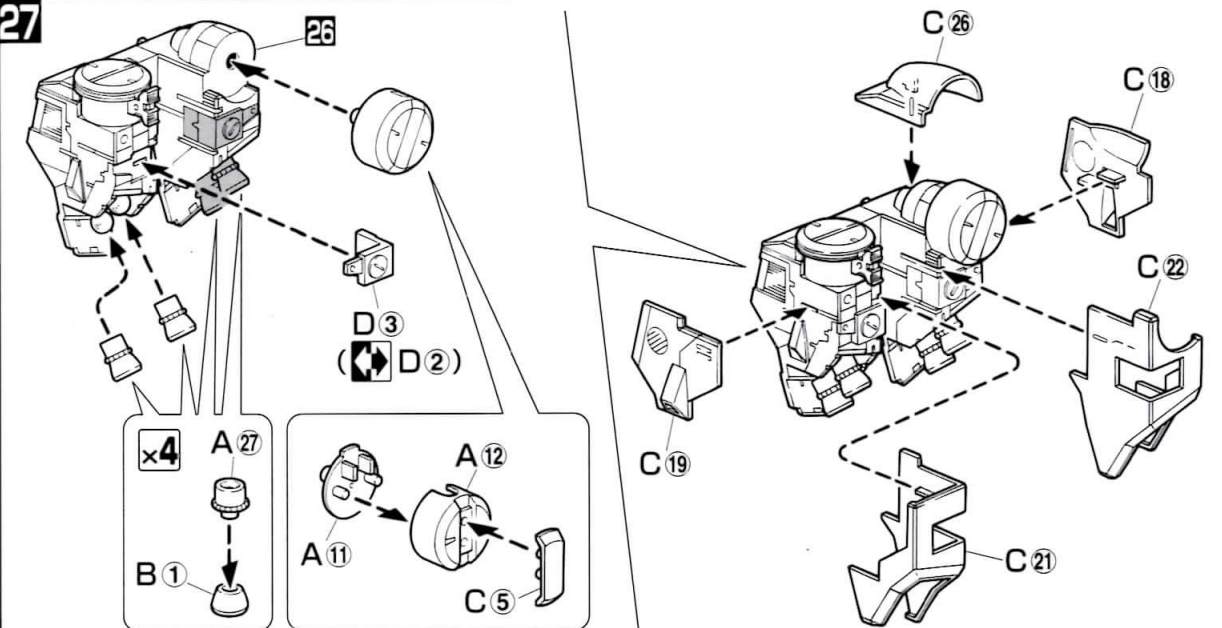
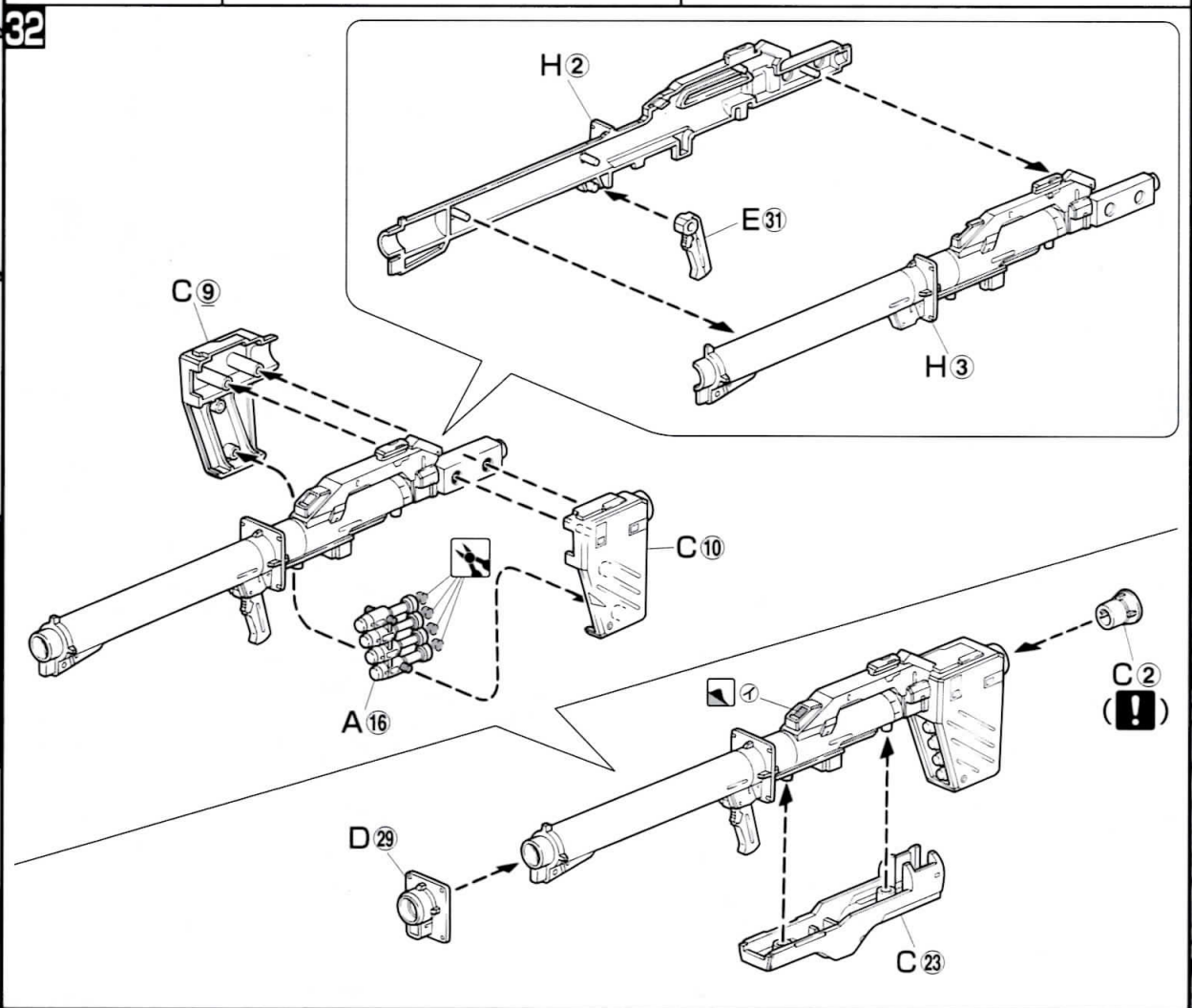
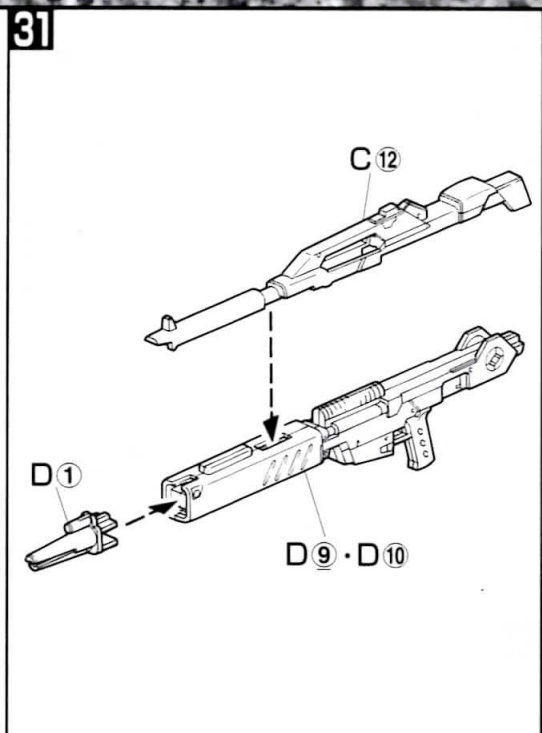
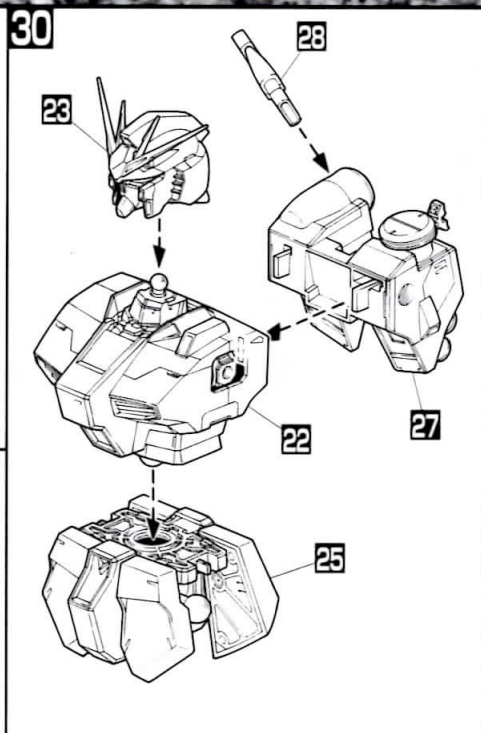
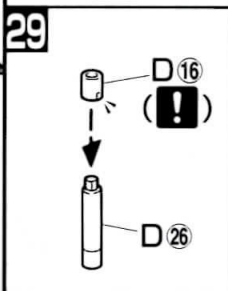
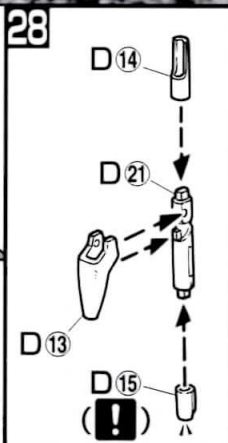
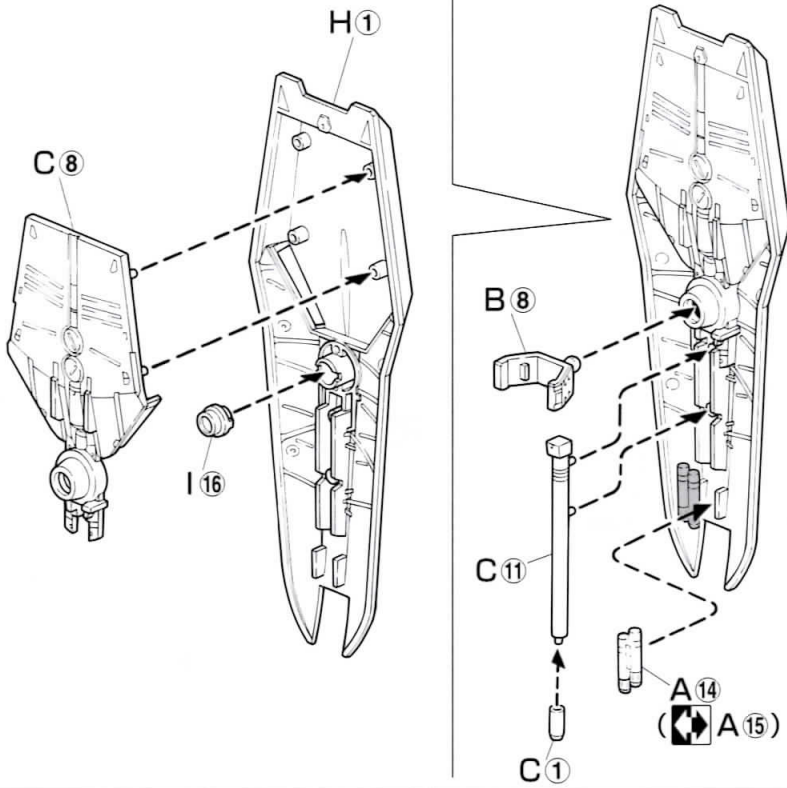
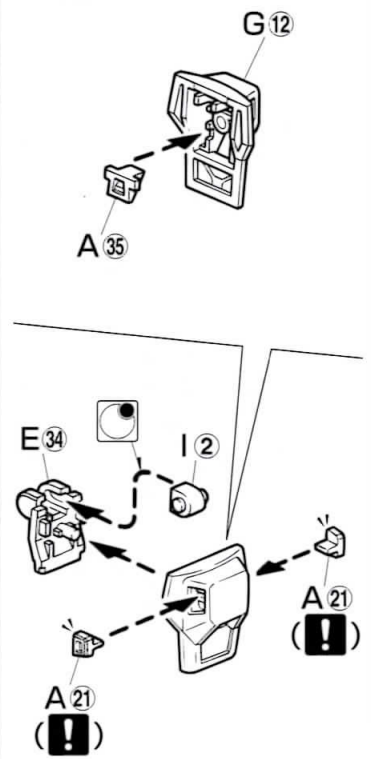
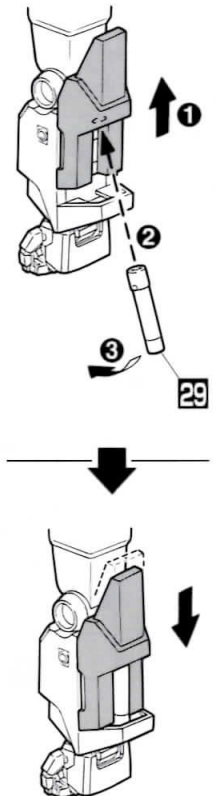
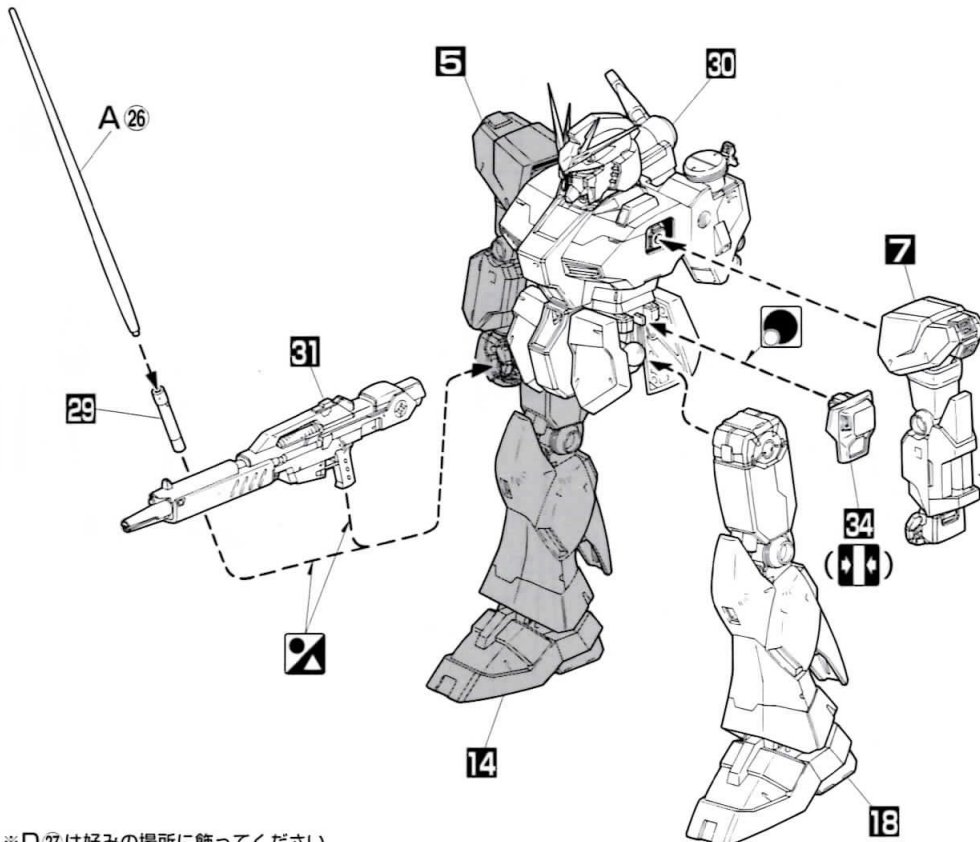
※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
●このキットをよりリアルに塗装したい方は、グンゼ産業より発売のガンダムカラー（MG「ニューガンダム」用、その他カラーセット）をお使いください。

色	説明
（ホワイト）	本体などの塗装色。 ホワイト（100%） ※またはガンダムカラー ホワイト5
（ダークブルー）	胸部などの塗装色。 ミッドナイトブルー（60%）+コバルトブルー（30%）+ブルー（10%） ※またはガンダムカラー ブルー14
（グレー）	関節などの塗装色。 ニュートラルグレー（80%）+ネービーブルー（10%）+ブルー（5%）+パープル（5%）
（イエロー）	本体ダクト・スラスターなどの塗装色。 イエロー（70%）+オレンジイエロー（30%） ※またはガンダムカラー イエロー2
（レッド）	コクピットハッチなどの塗装色。 モンザレッド（100%）
（グリーン）	センサー類の塗装色。 蛍光グリーン（100%）

FRONT VIEW

MOVEABLE FRAME

▲ 6枚のフィン・ファンネルは設定通りに脱着、変形が可能。

▲ 腕部、脚部の装甲は、脱着可能。フレーム、シリンダー等の内部メカニックを精密に表現。

Parts name of RX-93 νGUNDAM
Parts List
Body Unit
Arm Unit
Leg Unit
Weapons
FinalAssemble
16
I⑲
E㊷
E⑥
E⑦
ビス
E㊳
11
E⑧
I⑱
E⑨
15
E⑪
E㉟
E㊱
E⑩
G⑲
8
17
B⑦
A⑥
B⑥
A㉝
A⑤
G⑧
G⑨
G⑮
G⑯

20

D⑫

A④
(A③)

D⑪

I⑬

25

24
I ⑳
D ⑥ ( )
B ⑫
A ㉛
D ㉓
A ⑰
D ㉒
A ⑱
A ㉜
B ⑬

26

B ㉟
C ㉗
B ⑪
I ① (!)
I ⑭
B ㉔
C ⑦
A ⑩
E ㉜
(!)
C ⑥
B ㉓
E ㉝

28
D⑭
D㉑
D⑬
D⑮
29
D⑯
D㉖
30
28
23
22
27
25
31
C⑫
D①
D⑨・D⑩
32
H②
E㉛
H③
C⑨
C⑩
A⑯
C②
イ
D㉙
C㉓

※D㉗は好みの場所に飾ってください。

36

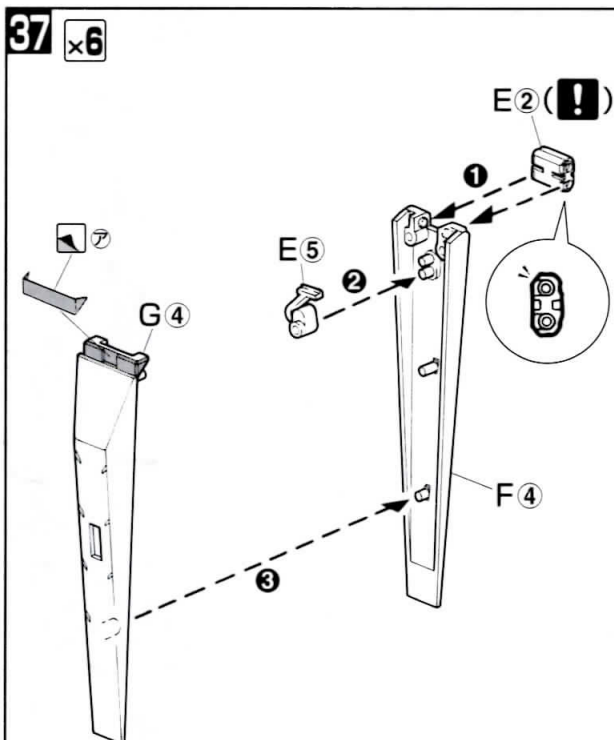
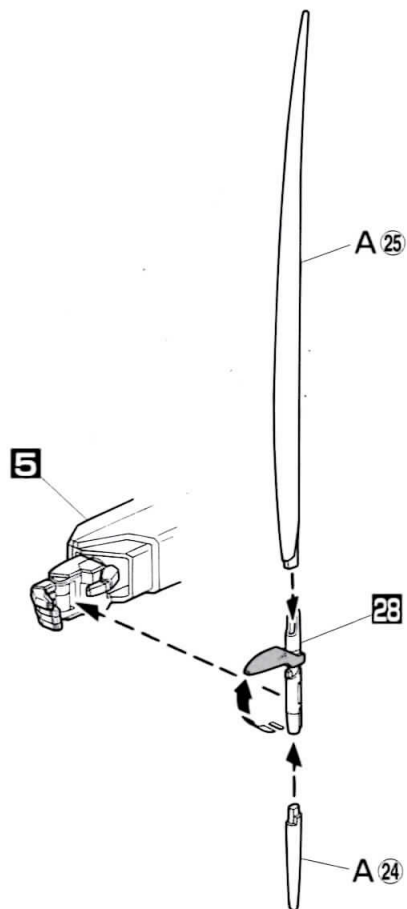
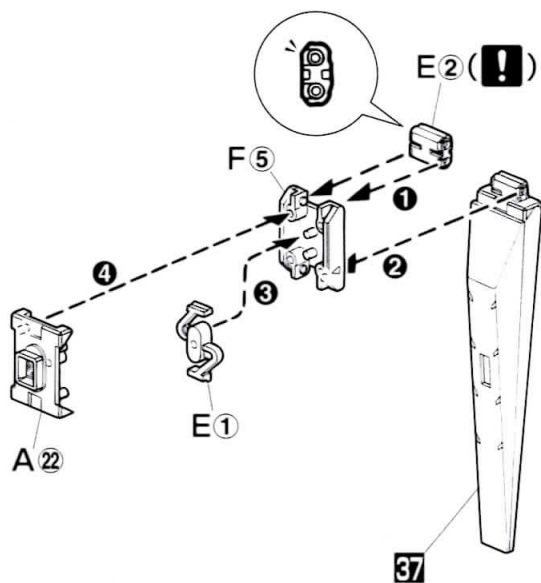
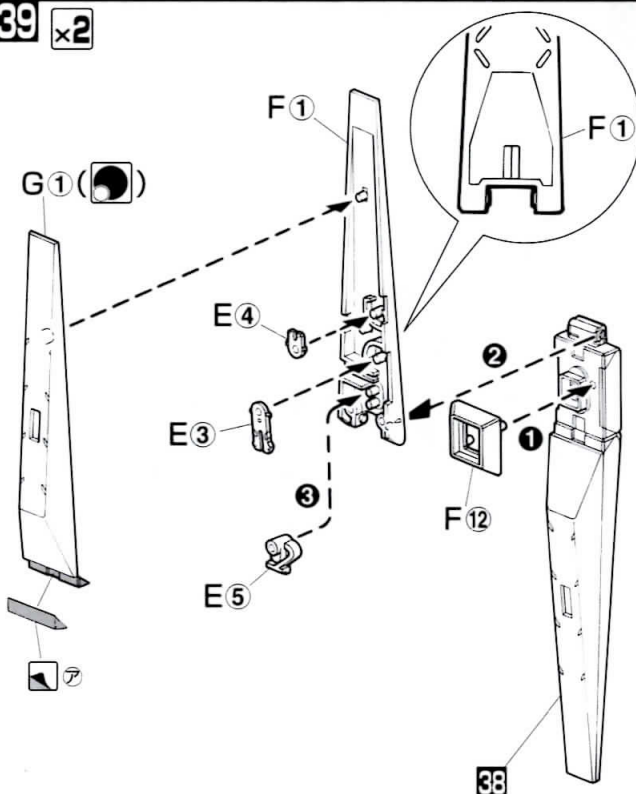
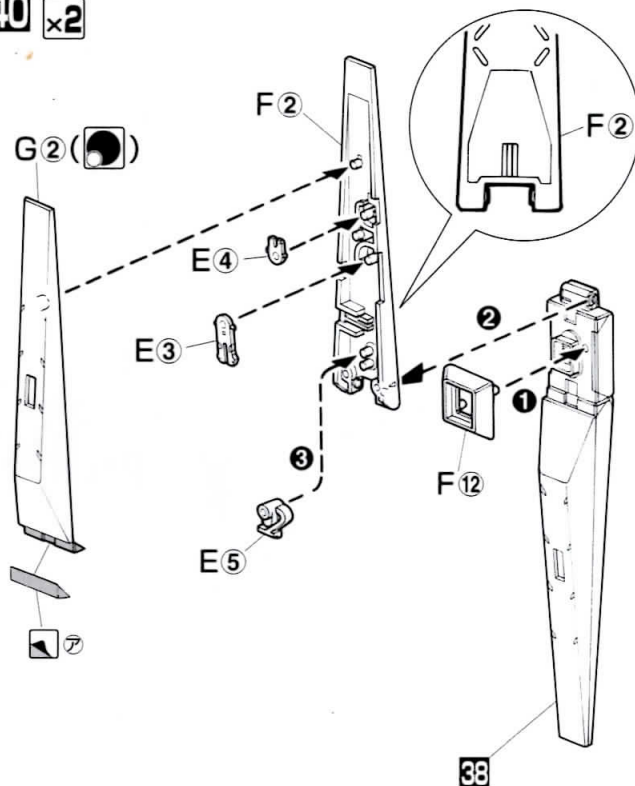
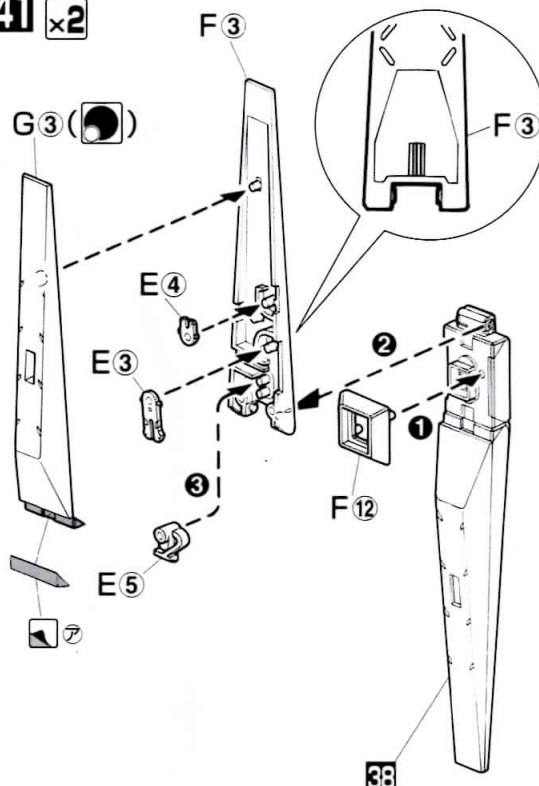
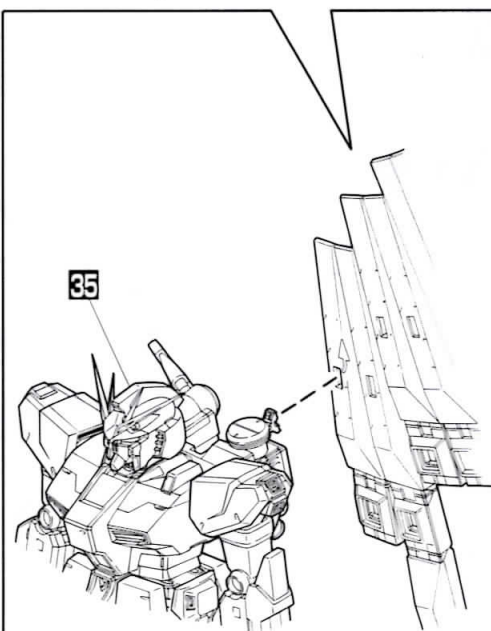
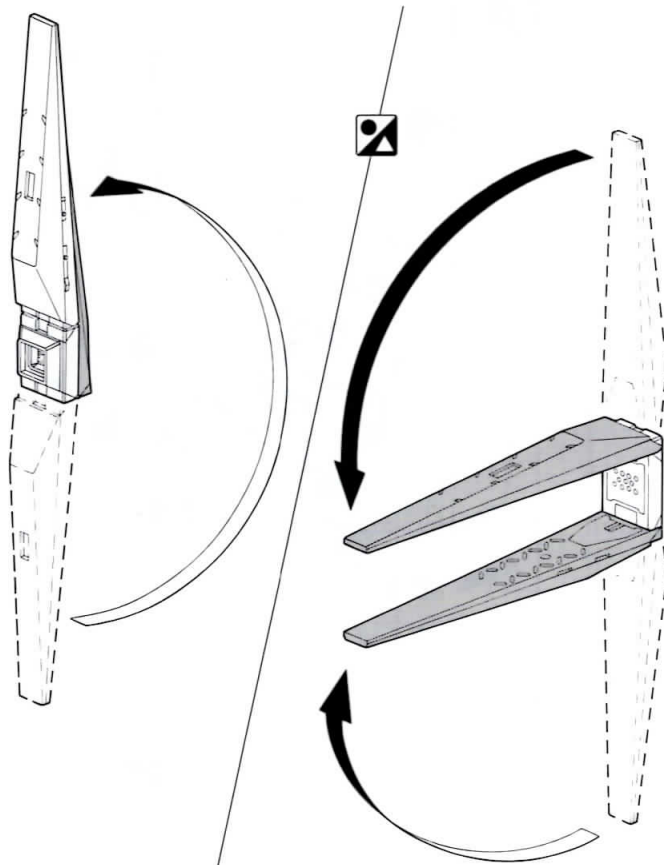
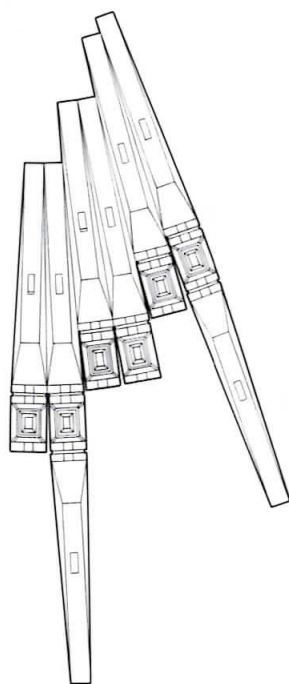
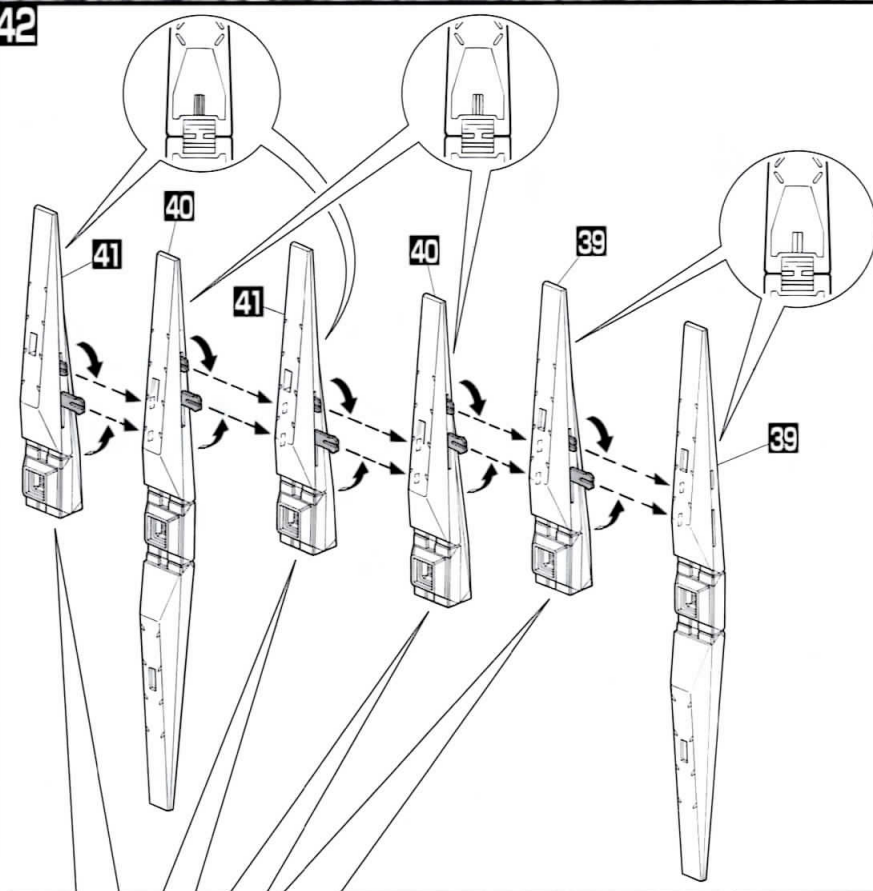
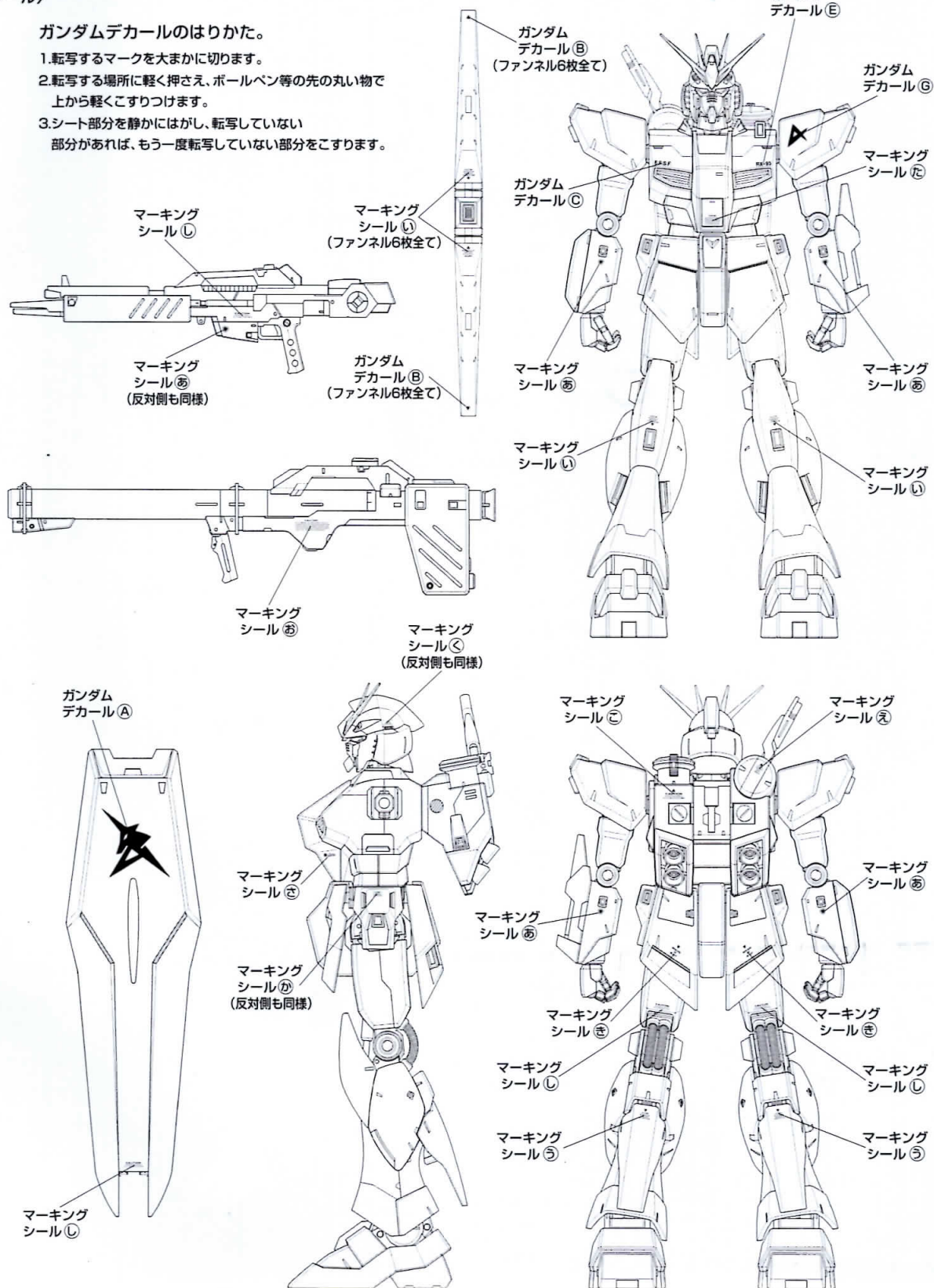
37 ×6

38 ×6

39 ×2

40 ×2

41 ×2

42
41
40
41
40
39
39
35
Parts name of RX-93 νGUNDAM
Parts List
Body Unit
Arm Unit
Leg Unit
Weapons
FinalAssemble

Seal
〈シール〉
下の図を見て、ガンダムデカールやシールのはる位置を確認してください。
ガンダムデカールのはりかた。
1.転写するマークを大まかに切ります。
2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。
マーキングシールⓛ
マーキングシールⓐ（反対側も同様）
ガンダムデカールⒷ（ファンネル6枚全て）
マーキングシールⓘ（ファンネル6枚全て）
ガンダムデカールⒷ（ファンネル6枚全て）
ガンダムデカールⒺ
ガンダムデカールⒼ
ガンダムデカールⒸ
マーキングシールⓣ
マーキングシールⓐ
マーキングシールⓐ
マーキングシールⓘ
マーキングシールⓘ
マーキングシールⓞ
マーキングシールⓚ（反対側も同様）
ガンダムデカールⒶ
マーキングシールⓢ
マーキングシールⓚ（反対側も同様）
マーキングシールⓛ
マーキングシールⓚ
マーキングシールⓔ
マーキングシールⓐ
マーキングシールⓐ
マーキングシールⓚ
マーキングシールⓚ
マーキングシールⓛ
マーキングシールⓛ
マーキングシールⓤ
マーキングシールⓤ
※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。

協力：ホビージャパン

地球連邦軍
ニュータイプ専用モビルスーツ
RX-93「ニューガンダム」
1/100 スケール
マスターグレードモデル

RX-93 νGUNDAM

E.F.S.F. AMURO RAY'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT FOR NEW TYPE